TADOKU JUNIOR 自然のふしぎ神話 ★★★☆☆ ふつう 444語

Daphne

ダフネ

Flora J. Cooke（1895年の本） 原文そのまま 朗読：Linette Geisel

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ 川の神のむすめダフネは、森の動物たちとなかよくくらしていました。ある日、太陽の神アポロンに見そめられて……。

Daphne was the daughter of the River Peneus.

She was a beautiful child and her father loved her more than anything else in the world.

Her home was in a cave which he had cut for her in a great white cliff.

The walls of the cave were of marble.

From the roof hung crystal chandeliers which Peneus' servants had made.

On the floor was a soft green carpet woven by the water fairies.

Peneus brought his most beautiful pebbles to Daphne's cave every night.

He sang songs to her in the evenings and told her stories of his travels.

She visited with him the great island which he was building in the sea.

When the morning star shone in the sky it was Daphne who awakened the birds and flowers.

With her golden hair flying behind her, she sped into the forest. Everything awoke when they felt the touch of her rosy fingers, and smiled as they saw her happy face.

The trees and the forest animals were her playfellows, and she had no wish for other friends.

She learned their ways, and the deer could not run more swiftly than she, nor the birds sing more sweetly.

One day as she was running over the stones near the cave, King Apollo saw her.

“Ah, little maid,” said he, “You are very beautiful. Your feet are too tender for the hard rocky earth.

“Come, you shall live with me in my palace in the sky.”

But Daphne fled from him.

She did not want to leave her beautiful earth home.

Fear gave her wings, and faster and faster she flew.

Her hair streamed behind her like a cloud of golden light.

Apollo followed more swiftly than the wind.

“Stop and listen,” he cried; “I am not a foe, foolish girl. It is Apollo who follows you. I shall carry you to a home more beautiful than anything you have ever seen.”

She felt his breath upon her hair, and saw his hand as he stretched it forth to seize her.

“Father, save me from Apollo,” she cried. “Let the earth enclose me.”

Peneus heard her voice and instantly her feet became fastened in the soil like roots. A soft bark covered her body and her beautiful hair became the leaves of the laurel tree.

Apollo sadly gathered some of the leaves and wove them into a wreath. He laid his hand upon the tree and said, “I would have made you happy, but you would not listen to me.

“At least you shall be my tree. Your leaves shall be ever green, and heroes shall be crowned with them in sign of victory.”



和訳 ダフネ（Daphne）

ダフネは、ペネイオス川のむすめでした。

ダフネは美しい子で、お父さんは世界の何よりもダフネをかわいがっていました。

ダフネの家は、お父さんが大きな白いがけをけずって作ってくれた、ほらあなでした。

ほらあなのかべは、大理石でできていました。

天じょうからは、ペネイオスのめしつかいたちが作った、水しょうのシャンデリアが下がっていました。

ゆかには、水のようせいたちがおった、やわらかい緑のじゅうたんがしいてありました。

ペネイオスは毎ばん、いちばん美しい小石を、ダフネのほらあなへ持ってきてくれました。

夕方には歌を歌い、旅の話をしてくれました。

ダフネはお父さんといっしょに、お父さんが海の中に作っている大きな島を見に行きました。

明けの明星が空にかがやくと、鳥や花を起こすのはダフネでした。

金色のかみをうしろになびかせて、ダフネは森へかけていきました。ダフネのばら色の指にふれられると、みんなが目をさまし、ダフネのしあわせそうな顔を見てほほえみました。

木々や森の動物たちがダフネの遊び友だちで、ほかの友だちはほしいと思いませんでした。

ダフネはみんなのくらし方をおぼえ、シカもダフネより速く走れず、鳥もダフネよりきれいに歌えないほどでした。

ある日、ダフネがほらあなの近くの石の上を走っていると、アポロン王がダフネを見かけました。

「ああ、おじょうさん」とアポロンは言いました。「あなたはとても美しい。あなたの足は、かたい岩だらけの地面には、やわらかすぎる。

「おいで、空の上のわたしの宮でんで、いっしょにくらそう。」

けれども、ダフネはアポロンからにげました。

美しい地上の家をはなれたくなかったのです。

こわさにつばさをもらったように、ダフネはもっと速く、もっと速くかけていきました。

かみが、金色の光の雲のように、うしろになびきました。

アポロンは、風よりも速くあとを追いかけました。

「止まって聞いておくれ」とアポロンはさけびました。「わたしはてきではないよ、おばかさん。あなたを追いかけているのは、アポロンだよ。あなたが今まで見たどんなものよりも美しい家へ、つれていってあげよう。」

ダフネはかみにアポロンの息を感じ、つかまえようとのばしてくる手を見ました。

「お父さん、アポロンから助けて」とダフネはさけびました。「大地の中に、わたしをかくして。」

ペネイオスがその声を聞くと、たちまちダフネの足は、根のように土にしっかりとくっつきました。やわらかい木の皮がダフネの体をおおい、美しいかみの毛はゲッケイジュの葉になりました。

アポロンは悲しそうに、その葉を何まいかつんで、かんむりにあみました。アポロンは木に手をあてて言いました。「わたしはあなたをしあわせにしてあげたかったのに、あなたは聞いてくれなかった。

「せめて、わたしの木になっておくれ。あなたの葉はいつまでも緑で、ゆうしゃたちはしょうりのしるしに、その葉のかんむりをかぶるだろう。」

たんご と クイズ ダフネ

River 川	cave ほらあな	pebbles 小石
deer シカ	roots 根	laurel tree ゲッケイジュ
wreath （花や葉の）かんむり		

Q1 ダフネのお父さんは、だれ？

① アポロン　② ゼウス　③ ペネイオス川

Q2 ダフネがアポロンからにげたのはなぜ？

① 美しい地上の家をはなれたくなかったから　② アポロンがきらいだったから

③ おにごっこをしていたから

Q3 ダフネは何の木になった？

① マツ　② ゲッケイジュ　③ ポプラ

こたえ

Q1 ③ ダフネはペネイオス川のむすめでした。お父さんは、がけをけずってダフネの家を作ってくれました。

Q2 ① ダフネは、美しい地上の家をはなれて、空の宮でんへ行きたくなかったのです。

Q3 ② ダフネの体はやわらかい木の皮におおわれ、美しいかみの毛はゲッケイジュの葉になりました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #30800（Flora J. Cooke、1895年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1895 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Linette Geisel（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。